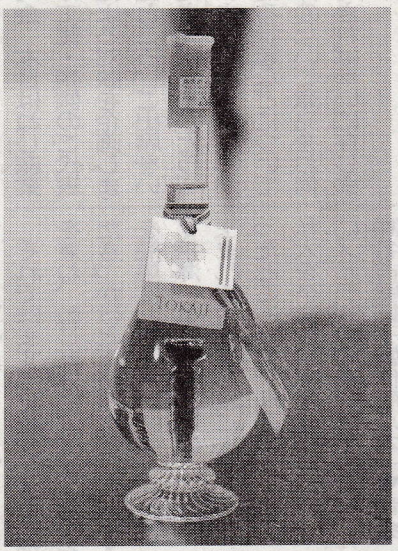


特注した記念ワイン

（静岡市清水区、柿澤宏一社長）が創業75周年を記念して社員や取引先に贈った特注ボ中に、入れ子のように小さなボトルが埋め込まれている珍しい形のボトル。ボトル底の注ぐことができる。こうしたワインボトルを手作りで製作しているハンガリーのガラス職人に頼んで特注したものだという。

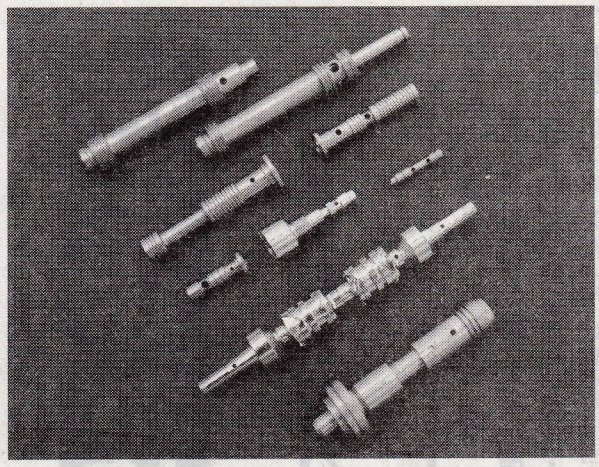
ボトルには、同社のロゴマークがレーザー刻印されたチタンプレートも飾られている。チタンはステンレスねじメーカーの同社が、モータースポーツ向けパーツなどに新たに取り組んでいる材質のひとつだ。

ことができる。

ワイン通の柿澤社長は「フォアグラやデザートに合うと思う。養殖の鮎と一緒にあわせても美味しかった」と話す。同社は今年創業75周年を迎えて、6月1日に記念式典を開催した。記念ワインは社員や取引先などにも贈られたもの。この「ねじワイン」、会社の記念品や販促品などに使用してみてはいかがだろうか。

超高速スピンドルで微細加工

セイラ　油圧、医療機器向け狙う



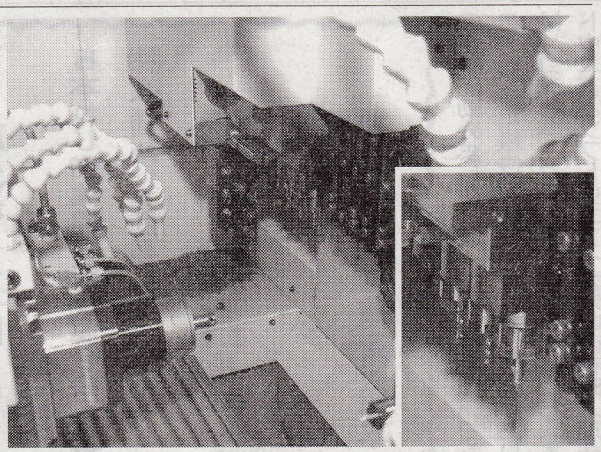
超高速スピンドルによる微細加工部品

切削加工部品や特殊精密ねじを製造する㈱セイラ（埼玉県加須市、原澤静男社長）は、超高速スピンドルを搭載した複合旋盤による微細精密加工に対応して、油圧スプールや医療機器向け部品の生産を強化する。

主に油圧シリンダの方向制御弁に使用される油圧スプールは、同社のここ最近の売上げで高いウエイトを占める製品だ。油圧スプールには横穴や切り抜き部があり、これを複合旋盤で穴加工したりミーリング加工している。通常の旋盤では3000から5000回転で加工するが、微細加工をするための小径の切削工具では、この回転数では刃が折れやすく、また回転不足数によるバリの発生もあり、こうした場合は仕上げ工程が必要となる。

そこで旋盤の回転数をスピンドル側で4倍速まで引き上げる㈱スズキプレシオン（栃木県）製の回転工具ユニット「アイビー・スピンドル」に着目。回転数を2万回転まで引き上げると刃先が安定して破損が抑えられ、長時間加工への対応や加工時間の短縮、さらにバリも抑えられるという。

「平成24年度補正・ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を活用して、今年3月にCNC自動旋盤（シチズンマシナリーミヤノ製L20X）を導入、これに「アイビー・スピンドル」を搭載させて7月より微細精密加工への取り組みを開始した。



CNC自動旋盤に搭載した超高速スピンドル
右下は拡大図

超高速スピンドルによるコンマレベルの穴加工やエンドミル加工を可能にして、いままで対応できなかった小型の油圧スプールの製作が可能になった。また導入したCNC自動旋盤は斜め穴加工にも対応しており、微細でより複雑な加工を必要とする医療機器向けへの販売拡大も目指す。原澤社長によると「例えば介護業界で需要が期待されるパワーアシストスーツには小型の油圧シリンダが使われており、油圧スプールも小型化が求められている。こうした需要にも応えられれば良い」と話す。同社は海外販路の拡大も積極的に目指している。異業種連携による合同の海外視察に定期的に参加するなどして、アジアや東欧など現地企業との独自のネットワークを構築して商社を介さずに小ロット製品を直接取引できるビジネスモデルを模索している。

㈱セイラ＝埼玉県加須市志多見83－6、電話0480－61－6101、http://seira-cat.com

日本ねじ研究協会は、ボルト・ナット・止めねじ関係の機械的性質のJISが、今年9月頃に改正されることにともない10月3日に東京港区の機械振興会館において説明会を開催する。

◇

今回の改正では、ねじの共通規格である機械的性質の内容が大幅に変更となる。JISの改正内容を理解してねじの生産・使用・取引に活用することが求められる。こうした背景から、日本ねじ研究協会では、ねじの機械的性質のJISの改正ポイントを解説する説明会を実施する。

▽開催日時＝10月3日（金）14：00～16：30▽開催会場＝機械振興会館6階　6D－1会議室（東京都港区芝公園3－5－8※東京メトロ日比谷線「神谷町駅」より機械振興会館行の無料バスあり）

当日のプログラム

▽14：00～14：40＝JIS B 1051（炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質－強度区分を規定したボルト、小ねじ及び植込みボルト－並目ねじ及び細目ねじ）の改正のポイント▽14：50～15：30＝JIS B 1052－2（炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質第2部：強度区分を規定したナット－並目ねじ及び細目ねじ）の改正のポイント▽

紙箱および ダンボールケースと各種包装資材
木ねじ用トムソン函販売開始
約100種類の規格品を常備在庫